

人がいきいきと活躍する 幸せ実感のまち

iMAR!

広報
伊万里



2024.5

令和6年度 予算特集号



第30回伊万里っ子キッズスポーツフェスティバル
(令和6年3月20日：国見台陸上競技場)

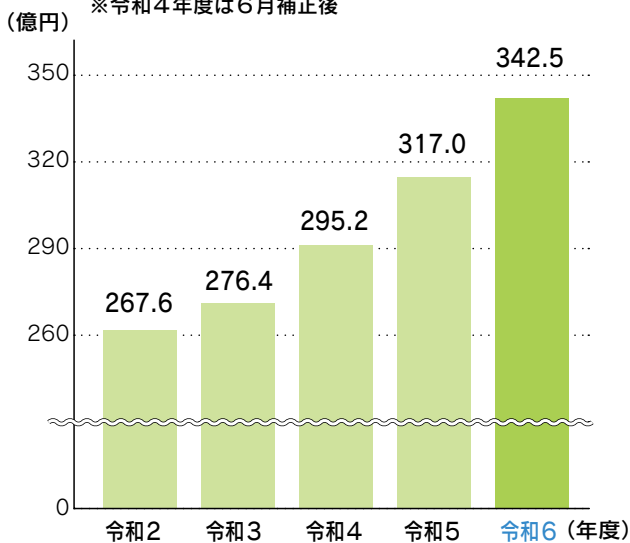
一般会計

令和6年度当初予算総額

342億5,200万円

一般会計予算額の年度別推移

※令和4年度は6月補正後

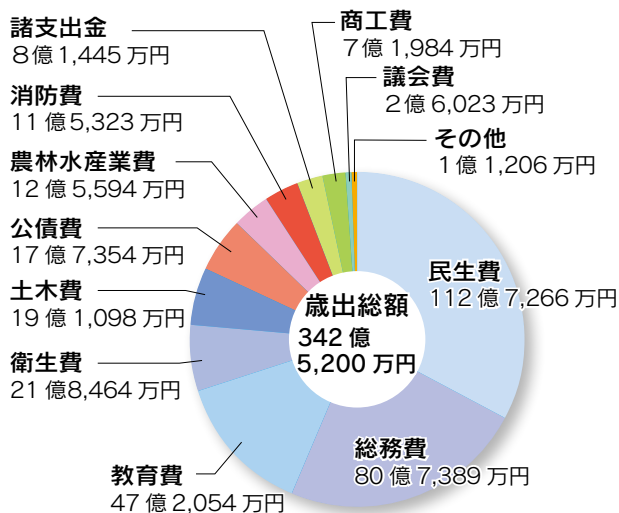


令和6年度の財政状況は、歳入では、自主財源の根幹をなす市税については、国の定額減税などの影響が考えられますが、堅調に推移すると見込んでいます。

歳出では、扶助費など社会保障に関する経費や一部事務組合への負担金などの義務的経費のほか、東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設の整備などの投資的経費や国民スポーツ大会の開催に係る経費が大幅に増加します。

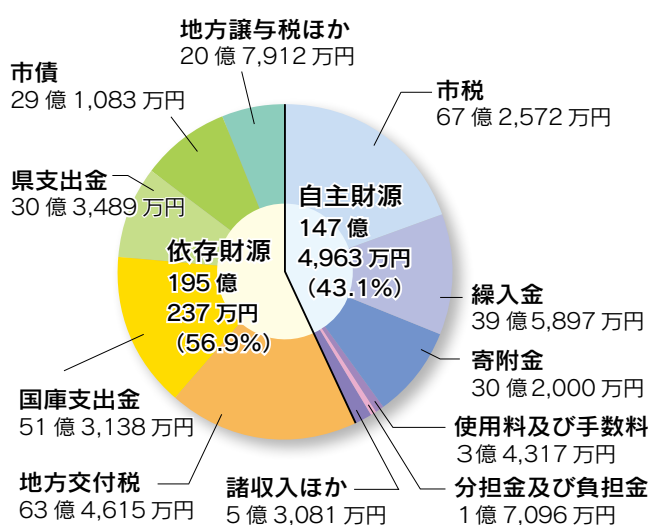
こうしたなか『住んで働きたいと感じるまち』の実現に向け、新たな子育て支援施策を中心とした、伊万里市の将来にとって真に必要な事業を強力に推し進めながらも、これまで進めてきた財政の健全化に配慮した予算編成を行いました。その結果、今年度の一般会計予算は、総額 342 億 5,200 万円で、令和5年度予算と比較し 8.1%の増加となっています。

歳出



- **民生費** …… 社会福祉や児童福祉、生活保護など市民の安定した生活を保障する経費です。
- **総務費** …… 企画や男女協働、まちづくりなど、主に総務部門に要する経費です。
- **教育費** …… 小・中学校などの学校教育や社会教育、保健体育など教育全般の経費です。
- **衛生費** …… 保健衛生や、ごみの収集・処理などに要する経費です。
- **土木費** …… 道路や河川、住宅、公園、市街地などの整備や維持管理に要する経費です。
- **公債費** …… 借入金の返済に要する経費です。
- **農林水産業費** …… 農林水産業の振興に要する経費です。
- **消防費** …… 火災など災害に対応するための経費です。
- **諸支出金** …… 企業会計への繰出金などです。
- **商工費** …… 商工業や観光の振興に要する経費です。
- **議会費** …… 議会運営に要する経費です。
- **その他** …… 労働費や災害復旧費などです。

歳入



- **市税** …… 個人と法人の市民税や固定資産税、たばこ税などです。
- **繰入金** …… 基金や特別会計からの繰入金です。
- **寄附金** …… ふるさと応援寄附金など、個人や法人などから受ける金銭寄附です。
- **使用料及び手数料** …… 施設の使用料、戸籍や住民票の謄・抄本の手数料などです。
- **分担金及び負担金** …… 災害復旧事業の負担金、保育園の入所負担金などです。
- **諸収入ほか** …… 受託事業収入や雑入などです。
- **地方交付税** …… 国が徴収した税金から、地方公共団体が等しく事務を進められるよう一定の基準で交付されるものです。
- **国庫支出金** …… 国からの負担金や補助金です。
- **県支出金** …… 県からの負担金や補助金です。
- **市債** …… 市が行う事業の財源として、国や金融機関などから借り入れる借入金です。
- **地方譲与税ほか** …… 地方譲与税や地方消費税交付金などです。

特別会計

特定の事業を行う際、特定の収入をもってその支出に充て、一般会計と区分して経理する必要があるため、特別会計を設けています。

令和6年度は、表1のとおり3つの特別会計を設けていて、その予算総額は、150億150万円となっています。

■国民健康保険特別会計

国民健康保険税や県支出金を主な財源として、医療給付などを行うための会計です。

■介護保険特別会計

介護保険料や国庫支出金を主な財源として、介護サービスを行うための会計です。

■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度の適用を受ける75歳以上の高齢者と、65歳以上で一定の障がいがある人から徴収した保険料を、佐賀県後期高齢者医療広域連合に納付する会計です。



表1 特別会計予算額

特別会計名	予算額
国民健康保険	71億1,753万円
介護保険	62億2,845万円
後期高齢者医療	16億5,552万円
計	150億150万円

企業会計

地方公営企業法の適用を受け、特別会計の中でも経営成績を明確にする必要があるため、次の3つの企業会計を設けています。それぞれの会計ごとの予算額は、表2のとおりです。

■水道事業特別会計

安心して飲める水を供給するため、水道使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■工業用水道事業特別会計

工業用水を供給するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

■下水道事業特別会計

下水道を維持管理するため、使用料などを財源に、事業運営や施設整備などを行う会計です。

市債現在高

建設事業などを行う際に、その財源の一部として、国や県、金融機関などから資金を借り入れています。市債の現在高は、表3のとおりです。

表2 企業会計予算額

区分	収益的収支	資本的収支
水道事業	収入	収入
	15億284万円	7億3,700万円
	支出	支出
	15億284万円	17億4,760万円
工業用水道事業	収入	収入
	10億1,136万円	6億1,842万円
	支出	支出
	10億1,136万円	12億5,933万円
下水道事業	収入	収入
	13億6,405万円	14億9,841万円
	支出	支出
	13億6,405万円	18億3,833万円

表3 市債現在高

会計区分	現在高	
一般会計	218億9,925万円	
会計区分	現在高	
企業会計	水道事業	56億1,468万円
	工業用水道事業	75億4,233万円
	下水道事業	70億6,455万円
計	202億2,156万円	

※令和6年3月補正後の額です。

※主な借入先は、財務省、地方公共団体金融機構、佐賀県、市中金融機関などです。

令和6年第1回定例会 所信表明

市民が明日の伊万里市に胸が高鳴り、まちに活気と変化を生み出す取り組みを進める

市議会第1回定例会（3月議会）で、深浦弘信市長が市政運営について所信表明を行いました。その一部を紹介します。

【市政運営の基本方針】

私は、守るべき伝統は引き継ぎながらも、新しい価値観や社会の変化をしなやかに市政に取り入れ、今年を『人口減少する中でも成長を維持するまちづくりへの転換点』にしたいと考えています。

このためにまず手掛けるのは『子育て支援』です。子どもが大切に育まれ、若い世代が安心して子育てができる環境を整えるため、子どもや子育て世代の目線に立った多様な視点から施策を展開し、市を挙げた子どもの成長応援に更なる力を注いでいきます。

また、これまでは財政上の課題で手を付けられなかった事業がありました。私が市長就任以来取り組んできた財政健全化の成果をいかし、機

【主な施策】

『いまりSTEP UPプロジェクト2024年版』では、5つの都市像の実現に向けた具体的な取り組みを進めます。

第1 『未来を託す 子育て応援都市』

子育て支援を最重要施策と位置付け『子育て・若者成長応援パッケージ第2弾』として『支える』『感じる』『選ばれる』の3つの視点から支援策を組み合わせて、推進していきます。

まず、子どもの成長と子育てを『支える』取り組みとして、学校や保育施設の給食費の高騰分への支援に加え、進学などに向け特に経済的負担が大きい中学3年生などの給食費を無償化します。

また、民間のノウハウを活用した県内初の公私連携型保育所として民営化した保育園の新施設の整備を支援するとともに、民営化による財政効果をいかし、子育て世帯の約9割にあたる世帯の保育料を引き下げます。

さらに、妊産婦や子育て世帯、子どもへの切れ目のない相談支援を一体的に行う『こども家庭センター』を開設す

るほか、3月で閉園した『ひまわり園』の施設を活用し、家庭環境などに課題を抱える子どもの居場所を整備します。次に、若者が伊万里で子育てしたいと『感じる』取り組みとして『ものづくりのまち伊万里』への愛着の醸成と将来の市内就職や定住を促進する『小学生を対象とした工場見学』などの実施や、学校に加え家庭での『デジタルドリル』の活用や、市内のIT企業と連携した、デジタル技術を積極的に活用する能力の育成などのほか、市制施行70周年記念として『子どもに人気の音楽ユニットによる幼児向けコンサート』を開催します。



↑3月にオープンした伊万里ファミリーパークの『インクルーシブ遊具エリア』

次に、子育ての場に『選ばれる』取り組みとして、多世代交流により地域の子育て力の向

上を促進する『東山代小学校とコミュニティセンターなどの複合施設の整備』をはじめ、安全・安心な通学環境を確保するため、学校から1キロ以内の通学路における『交通安全施設の整備』のほか、家族の絆を深める魅力ある公園づくりとして『伊万里ファミリーパーク』の改修、『楠久津公園』への複合遊具の設置』などに取り組みます。

さらに、明日の市の活気につながるプロジェクトとして『スポーツ』『健康』『憩い』『防災』の4つをテーマとする体育館の建替を中心とした国見台公園の総合的な整備の検討や『子育て』『賑わい』『多世代交流』の3つをテーマとする『市民会館跡地での複合施設の整備』を検討していきます。

第2 『未来を先取る デジタル都市』

デジタル技術を地域課題解決の鍵として、誰もが便利で快適に暮らせる持続可能な社会の実現を目指します。

まず、行政手続きでは、市役所来庁者の住民異動申請時の負担を軽減する『スマート窓口』の本格運用を開始し、導入効果を高めるため1階の案内表示や窓口カウンターなどを更新するほか、コンビニ

エンストアでの住民票などの交付に『戸籍』を追加するとともに、公共施設のオンライン予約受付などへのデジタル技術の活用を検討します。

また、特性を持つ子どもに応じた適切な支援と教員の専門性の向上を図る『特別支援教育システム』の学校への導入や、幅広い世代を対象に市内のIT企業などと連携したデジタル技術を学ぶ場の確保のほか、きめ細かな情報弱者支援として各地区での高齢者などの『スマートフォン教室』を開催します。

第3 『競争に打ち勝つ 産業都市』

伊万里ブランドの振興、交流人口獲得の最大のターゲットとする福岡都市圏向けの観光戦略の拡充など、九州西北部の活力創造拠点として更なる活性化を図ります。

まず、伊万里牛については、経営が悪化し、飼養頭数が減少している肉用牛農家などへの支援として、出荷頭数や等級に応じた奨励金を交付するほか、経営基盤の強化に向けた補助制度を拡充します。

また、福岡市内の飲食店と連携した伊万里産食材による食のイベント開催のほか、旅

好きの女性をターゲットとする『モニターツアー』の開催や『女子旅EXPO』への出展など、市独自の効果的なプロモーション活動を展開します。

このほか、本市出身で海上保安官の活躍を描く『海猿』で有名な小森陽一氏とタイアップし、映画の特別上映会や海上保安庁と連携した体験航海などを開催します。



↑ 来年に佐賀鍋島藩御用窯の開設 350 周年を迎える大川内山

さらに、伊万里駅周辺の民間活力による活性化の促進のほか、令和7年に佐賀鍋島藩御用窯の開設350周年を迎える大川内山において、産地のコンセプトや統一ロゴマークなど次の400周年へと引き継ぐ『産地ブランディング戦略』の策定を支援するほか、伊万里・有田焼伝統産業会館の

第4 『世界に向けた 港湾都市』

伊万里港において、浦ノ崎地区の開発に向け、再生可能エネルギーとして期待が高まる洋上風力発電の関連産業やトラックドライバの過重労働対策にもつながる『フェリー・RO・RO船』の誘致に向けた調査研究を進めるなど、県との連携により、伊万里港の将来の開発を見据えた長期構想の策定を促進し、また、コンテナ貨物の取扱量を増加させるため、佐賀県伊万里港振興会の取り組みを支援するほか、伊万里団地を中心とした企業の集積に伴う渋滞の解消に向け『臨港道路久原線』の4車線化を促進します。

さらに、伊万里ファミリアパークにおいて、民間のノウハウや資金による未利用地の整備を進め、近接する海浜公園を含む海に親しむ公園としての魅力向上に向けて取り組んでいきます。

第5 『SDGs 推進都市』

私は、市が成長を続ける魅力あるまちであり続けるには、活気を生み出す新しい施策の展開に加え、小さな声に

もすっかりと向き合い、SDGsの理念でもある『誰一人取り残さない、温かい地域づくり』の視点が欠かせないと考えています。

まず、移住の促進と定住人口の確保については、市内企業への就業を柱として『いま暮らしスタート支援金』などの移住奨励金の拡充やU・I・Jターン就職の促進などに取り組みます。



↑ SAGA 2024 国スポ・全障スポ大会をみんなで盛り上げましょう

また、令和7年に開館30周年を迎える市民図書館を、次の30年を見据えた新たな図書館像の一つとして、市の脱炭素社会の実現に向けた拠点となる『カーボン・ニュートラル・ライブラリー』と位置付け、太陽光発電設備などの整備や環境学習施設の整備方針

を検討します。このほか、市民の脱炭素への意識向上の促進や観光客などの移動手段の拡充のため、伊万里駅前『EV公用車を活用したカーシェアリング』を導入します。

さらに『誰一人取り残さない、温かい地域づくり』として、地域課題の把握と解決に取り組み『集落支援員』の増員をはじめ、地域における買い物手段の確保と見守りや交流促進を担う移動販売事業者への支援のほか、コミュニティセンターを核とした地域経営の在り方やモデル的な地域づくりなどの研究を進める『地域経営支援室』を新設します。

今年、いよいよ『SAGA 2024 国民スポーツ大会』が全国障害者スポーツ大会が開催されます。市の魅力を全国に発信する絶好の機会となりますので、市特産品をいかしたおもてなしや小中学生の競技観戦などを行い、市民総ぐるみで大会を盛り上げます。

私は『伊万里市版SDGs』を推進し、住み慣れた地域で今後も暮らし続けることができる持続可能な伊万里市づくりに、皆さまとともに全力で取り組んでいきます。

1 安心して健やかな暮らしづくり

まちづくりの目標

行政と地域が一体となり、本市で活動するすべての人が自分らしくいきいきと輝くことができるよう『安心して健やかな暮らしづくり』を進めます。

▼ 市民一人一人が心身ともに健康的な生活を送ることができるよう、各種保健事業の充実を図るとともに、地域や医療機関と一体となった健康づくり活動や介護予防サービスの提供を推進します。

▼ 高齢者や障がいのある人など支援が必要な人が自分らしく生活できるような相談・支援体制の構築を進め、適切な介護サービスや障がい福祉サービスを提供するとともに、施設の整備やサービスの提供により、子どもを健やかに育てる体制を整えます。さまざまな福祉活動については、地域や関係機関との連携により社会全体で取り組むとともに、担い手の育成に努めます。

● MIRAー世代応援事業〔新〕

280万円
市制施行70周年を記念し『親子で楽しむファミリーコンサート』を開催することで、子育て世代が集い交流する機会を設けます。
財源 繰入金280万円

▼ 企画政策課



● 障がい児通所給付事業

3億7672万円
児童福祉法に基づき、障がい児などの療育を支援するため、障がい児などの保護者に対して、障がい児通所給付費などを給付します。
財源 国1億8750万円
県9375万円 市9547万円

▼ 福祉課



● 保育対策総合支援事業

5322万円
保育士の業務の負担軽減や保育環境の向上を図るため、私立保育所などに対して、保育補助者の雇用、保育支援者の雇用、保育業務などのICT化、設備の更新などに要する経費を補助します。
財源 国171万円
県4235万円 市916万円

▼ 子育て支援課



● 障がい者（児）介護・訓練等給付事業

14億6771万円
障害者総合支援法に基づき、障がい者の自立や社会参加を促進するため、障がい者やその保護者に対して、介護給付費などを給付します。
財源 国7億3295万円
県3億6647万円
市3億6829万円

▼ 福祉課



● 子どもの医療費助成事業

2億7536万円
子育て世帯の負担を軽減するため、就学前の子どもの医療費を全額助成するとともに、小学生から高校生などまでの子どもの医療費の一部を助成します。
財源 県6064万円
繰入金1億5133万円
市6339万円

▼ 子育て支援課



● 保育園民営化推進事業

1745万円
公立保育園の民営化に伴う新施設整備に対して、補助を行います。
財源 国1158万円
市債460万円 市127万円

▼ 子育て支援課



●子ども第三の居場所きらら管理運営事業【新】

5240万円
 家庭や学校に居場所がない子どもに
 対して、生活習慣の形成や学習のサ
 ポートなど子どもの居場所に関する
 総合的な支援を行います。運営全般
 については、指定管理者が行います。
 財源 諸収入5240万円

▼こども家庭センター



●私立保育園等支援事業

24億1121万円
 市内の児童が私立保育所などに入所
 する場合、その児童の保育に要する経
 費の一部を負担します。また、市内
 の私立保育所などに対して、高騰す
 る給食材料費の増額分を補助します。
 財源 負担金9685万円
 国11億9518万円
 県5億2177万円
 市5億9741万円

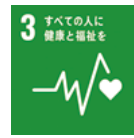
▼子育て支援課



●児童手当支給事業

9億7956万円
 次代を担う児童の健やかな成長を支
 援するため、中学校修了までの児童
 を対象に、児童手当を支給します。
 また、令和6年10月分から、対象者
 と金額の拡充、支給間隔の短縮を行
 います。
 財源 国6億7497万円
 県1億5063万円
 市1億5396万円

▼子育て支援課



●生活保護費支給事業

9億8914万円
 生活困窮者に対して、最低限度の生
 活を保障し、自立を助長するために
 生活保護費を支給します。
 財源 国7億4186万円
 県2408万円
 市2億2320万円

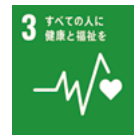
▼福祉課



●子育て世代包括支援センター事業
 (産婦健康診査【新】)

381万円
 産婦の健康増進や異常の早期発見を
 図るため、出産後間もない時期の母
 親への支援・指導を行う産婦健康診
 査を実施します。
 財源 国190万円
 市191万円

▼こども家庭センター



●出産・子育て応援事業 4037万円

妊娠から出産・子育てまで一貫
 して身近で相談に応じ、さまざまな
 ニーズに即した必要な支援につな
 ぐ伴走型相談支援の充実を図ること
 で、妊婦や子育て家庭が安心して出
 産・子育てができる環境を整備しま
 す。また、妊娠届出時や出生届出後
 に、経済的支援を行います。
 財源 国2659万円
 県689万円 市689万円

▼こども家庭センター



●伊万里・有田地区医療福祉組合運営
 負担金

2億3650万円
 病院事業を行う伊万里・有田地区医
 療福祉組合に対して、その運営に要
 する経費を負担します。
 財源 市2億3650万円

▼市民課



●予防接種事業

1億5957万円
 感染症の発生を予防するため、小児
 などへの各種予防接種、高齢者のイ
 ンフルエンザ予防接種などを実施し
 ます。
 財源 国84万円 県21万円
 市1億5852万円

▼健康づくり課・こども家庭センター



まちづくりの目標

市民一人一人が、みずからが住む郷土への誇りや愛着を持ち、個性や能力を伸ばし生かすことができるよう『創造的で心豊かなひとづくり』を進めます。

▼子どもたちが意欲的に学び、社会で求められる能力を身に付け、心身ともに健やかに成長できるように、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進します。

▼市民一人一人が生涯を通じて学び、自己実現を果たすことで、充実した人生を送ることができるよう、効果的な生涯学習に関する取り組みを進めます。

▼郷土の歴史や文化の保存と継承に努めるとともに、地域固有の資源の活用をはじめ、国際的な交流のほか、文化・芸術活動、スポーツの振興を図ることで、市民が文化やスポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。

▼さまざまな人権問題の解決のため啓発を推進し、お互いの人権を尊重し合う共生社会の実現を図ります。

●教科書購入事業

5201万円

教師用教科書や指導書を購入するとともに、児童生徒の学習への興味や関心を高め、多くの資料・情報を素早く提供することで学力向上を図るため、デジタル教科書を購入します。
財源 繰入金5200万円
市1万円

▼学校教育課

●デジタル・シティズンシップ教育推進事業【新】

249万円

主体的に考え行動する能力を育成する『デジタル・シティズンシップ教育』を推進するために、中学校と義務教育学校に市内IT企業から講師を招き、プログラミングやAIなどのデジタル技術を活用するワークショップなどを開催します。
財源 繰入金240万円 市9万円

▼学校教育課

●小・中学校施設環境改善事業

3億3786万円

学校施設の教育環境を改善するため、特別教室（理科室、音楽室、家庭科室、美術室）や多目的室への空調設備の設置を行うとともに、伊万里小学校のトイレの改修に向けた実施設計を行います。
財源 国8017万円
市債1億9300万円
市6469万円

▼教育総務課

●小・中学校遠距離児童生徒通学支援事業

8131万円

学校統合により遠距離通学となった児童生徒に定期券の購入などに要する経費を補助するとともに、公共交通機関がない地域においてスクールバスなどを運行します。
財源 県543万円
市7588万円

▼学校教育課

●小・中学校パソコン管理事業

1億906万円

ICT利活用環境の充実を図るため、デジタルドリルの使用や電子黒板、パソコンなどを更新します。
財源 繰入金90万円
市1億816万円

▼学校教育課

●市内企業見学事業【新】

118万円

児童が市内企業の工場見学などを行うことで、本市の製造業について学習し、興味・関心を持つことにより、将来の就職や定住の推進を図ります。
財源 繰入金110万円 市8万円

▼学校教育課



●文化財保護総務事業（無形民俗文化財調査業務委託料）【新】

18万円

市内の民俗芸能の次代への継承や後継者の育成を図る基礎資料とするため、市内放送局が所有する映像記録の調査を行います。

財源 市18万円

▼生涯学習課



●図書館改修事業（カーボン・ニュートラル・ライブラリー）【新】

9471万円

カーボンニュートラルを推進する拠点施設として市民図書館を整備するため、改修設計や太陽光発電設備などの設置を行います。

財源 繰入金1500万円

市債7870万円 市1001万円

▼市民図書館



●国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業

4億683万円

令和6年度（2024年）に佐賀県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催されることに伴い、SAGA2024伊万里市実行委員会に対し、その運営に要する経費を負担します。

財源 県1億5871万円

繰入金1億6920万円

市7892万円

▼国スポ・全障スポ推進課



↑国見台公園には、ひととき大きな看板が設置されています

●学校給食センター管理運営事業（アレルギー対応給食提供）【新】

735万円

学校給食センターの施設、設備の改修工事により、アレルギー対応給食の提供が可能となったことから、提供に必要な体制を整備します。

財源 市735万円

▼学校教育課



●学校給食運営委員会支援事業（学校給食費高騰対策補助金）

5366万円

物価高騰により、令和5年に引き続き、令和6年4月から学校給食費が改定され、子育て家庭の負担が増加することから、急激な負担増を軽減するため、給食費の値上げ分の2分の1を補助します。

また、進学などに向け、特に経済的負担が大きい中学校3年生と義務教育学校9年生の給食費を全額補助します。

財源 臨時交付金4387万円

市979万円

▼学校教育課



●東山代小学校・コミュニティセンター等複合施設整備事業

17億9380万円

老朽化した東山代小学校や東山代児童クラブ、東山代コミュニティセンターの3施設の複合施設建設工事を行います。

財源 国4億4610万円

県3535万円

繰入金1億8855万円

市債11億2380万円

▼まちづくり課・教育総務課



●東陵学園等整備事業

2億786万円

大川小学校、松浦小学校の老朽化と児童数の減少に伴い、両小学校と東陵中学校を統合し、新たに義務教育学校『東陵学園』を設置するとともに、児童クラブを整備するため、東陵中学校校舎の増築と改修工事を行います。

財源 国2395万円 県665万円

繰入金4466万円

市債2億260万円

▼教育総務課



活気あふれる産業づくり

まちづくりの目標

地域経済の活性化により生活の豊かさや都市の活力を高めることができるよう、本市の資源や特性をいかした『活気あふれる産業づくり』を進めます。

▼第1次産業において、価格の低迷や担い手不足という共通した課題がある中、効率的で安定的な経営の確立を図るとともに、さまざまな機会を積極的に活用し、ブランド力の向上に努めます。

▼地場商工業の経営基盤の強化や伊万里焼の伝統技術の継承に努めるとともに、中心市街地におけるにぎわいの創出を図るほか、新たな雇用機会の創出に努めます。

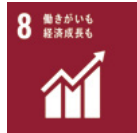
▼伊万里市観光協会などと連携し、外国人を含めた観光客の受入体制の整備や観光情報の効果的な発信などにより、観光地としての魅力の向上を図ります。

▼本市の発展の歩みとともにある伊万里港については、貿易の拡大と施設の整備促進により国際物流拠点としての地位向上を図ります。

●U・I・Jターン就職促進事業【新】 15万円

市内民間企業への就職を検討している県外在住者やその世帯員に対し、週末を利用した企業訪問や移住に伴う生活環境の確認のため、市内宿泊施設を利用する場合に、宿泊費の一部を補助します。
財源 市15万円

▼企業誘致・商工振興課



●伊万里牛出荷奨励事業【新】 1978万円

伊万里牛ブランドとしての出荷数量の維持と、伊万里産子牛の安定供給を図るため、出荷した頭数や成績に応じて奨励金を交付します。
財源 繰入金1970万円
市8万円

▼農業振興課



●EVカーシェアリング促進事業【新】 87万円

伊万里駅前において、EV公用車を活用したカーシェアリングを実施し、市民の脱炭素への意識の向上とEV導入意欲の促進、観光客などの二次交通の選択肢の拡充を図ります。
財源 諸収入10万円 市77万円

▼企画政策課



●伊万里・有田焼伝統産業会館管理運営事業（伊万里・有田焼伝統産業会館改修等【新】） 2473万円

大川内山の玄関口である伊万里・有田焼伝統産業会館において、鍋島の歴史・価値などの情報を発信する機能を強化し、市内外に向けて本市の伝統産業の振興を図るため、エントランスホールと資料展示室を改修します。
財源 市2473万円

▼企業誘致・商工振興課



●第3次プレミアム付商品券発行事業【新】 1億103万円

食料品価格などの物価高騰の中、市民の消費生活を下支えし地域経済の活性化を図るため、プレミアム付商品券を発行します。
財源 臨時交付金8180万円
市1923万円

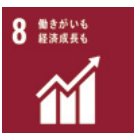
▼企業誘致・商工振興課



●観光PR事業 2116万円

福岡都市圏などからの更なる誘客を図るため、旅行会社などへの営業活動を行うほか『伊万里フェア』をはじめとしたイベントを開催するとともに、さまざまなメディアを活用し、情報を発信します。
財源 繰入金2110万円 市6万円

▼シティプロモーション推進課



4 生活の基盤づくり

市民の日常の暮らしを守り維持していくことができるよう、必要なインフラ整備に努め適正に維持管理することにより『生活の基盤づくり』を進めます。

▼西九州自動車道の延伸や幹線道路の整備により安全かつ迅速な交通ネットワークの構築を図るとともに、利便性が高く、持続可能な公共交通網の構築を推進します。

▼老朽化が進む道路や上下水道などのインフラ資産や、公共建築物の効率的な維持管理を図るとともに、高齢者や障がいのある人など、すべての人が安心して生活することができる環境の整備に努めます。

▼用途地域に基づく開発の促進や都市計画施設の整備の推進により、秩序ある都市空間の形成を図ります。

▼市民の憩いの場として快適で安全に利用できる公園施設の計画的な更新や維持管理に取り組みます。

▼低家賃で良質な市営住宅の供給に努めるとともに、住環境における多様なニーズに対応するための相談体制の整備を図るほか、増加が見込まれる空き家などについては、状況に応じて所有者に適正な管理を指導するなど、安全の確保に努めます。

●バス交通支援事業

不採算バス路線の維持や地域が行うバスの運行に要する経費を補助します。

9980万円

財源 繰入金9970万円
市10万円

▼まちづくり課



●道路管理事業（単独）

2億3295万円

老朽化した道路照明灯を修繕するほか、市内全域に係る市道の維持補修などを行います。

財源 県3706万円
市債 1億160万円
市9429万円

▼道路河川課



●都市計画総務事業（都市計画マスタープラン策定業務委託料、立地適正化計画策定業務委託料）

2640万円

都市づくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地域における都市づくりの課題に対応した整備などの方針を決めるため、都市計画マスタープランと立地適正化計画を策定します。

財源 国720万円 市1920万円

▼都市政策課



●都市公園管理事業（公園施設長寿命化対策工事）

1100万円

伊万里市公園施設長寿命化計画に基づき、修繕が困難な複合遊具を更新します。

財源 国550万円 市債540万円 市10万円

▼都市政策課



↑更新された国見台公園の複合遊具。今年度は楠久津公園の遊具を更新します



●実家に帰ろう住宅改修等支援事業

2468万円

市外在住者の市内定住や将来の空き家を未然に防ぐため、市内に実家がある市外在住者などを対象に移住相談会を実施するとともに、Uターンに伴い生じる実家の改修などに要する経費を補助します。

財源 国648万円
繰入金1820万円

▼都市政策課



●交通安全施設整備事業（単独）

3559万円

通学路などの市道で、交通事故の減少と歩行者などの安全を確保するため、交通安全施設（防護柵や区画線、反射鏡など）を設置します。

財源 市3559万円

▼道路河川課



まちづくりの目標

地域の歴史や豊かな自然環境を次代につなぎ、安全・安心に暮らすことができるよう、自然環境や災害などに配慮し対応した『住みよい環境づくり』を進めます。

- ▼ 市民や事業者と、行政が連携することにより、ごみの減量化・資源化に取り組むなど、地域の生活環境はもとより地球環境への配慮に努めるとともに、再生可能エネルギーの普及・啓発を図るなど、循環型社会の構築に努めます。
- ▼ 自然災害の教訓を踏まえ、将来にわたって安全・安心に暮らし続けるために防災体制を整備するとともに、市民の危機管理意識の醸成を図ります。
- ▼ 市民の交通安全意識の高揚を図るとともに、犯罪やトラブルから市民を守る取り組みを進めるなど、安全なまちづくりを目指します。

● 佐賀県西部広域環境組合運営負担金

8億3723万円

市内から搬出されたごみ（一般廃棄物）を処理するため、さが西部クリーンセンターを運営する佐賀県西部広域環境組合の運営経費を負担します。

財源 市8億3723万円

▼ 環境政策課



● 浦分地区浸水対策事業

2億5606万円

黒川町浦分地区の市道や住宅への浸水被害を低減するため、排水機場を新設します。

財源 市債2億5600万円
市6万円

▼ 道路河川課



● 雨水ポンプ場更新事業

1億9451万円

市街地の浸水対策を維持するため、令和5年度から7年度にかけて、雨水ポンプ場（松島町）の排水ポンプ2台を更新します。

財源 国9443万円

市債9490万円 市518万円

▼ 下水道施設課



● 内水浸水リスクマネジメント推進事業【新】

1847万円

水防法の改正に伴い、下水道による浸水対策を実施するすべての団体において、想定最大降雨（1000年に1度級の雨）に対する雨水出水浸水想定区域を指定することが義務付けられたことから、本市の雨水管理方針策定に必要な基礎調査などを行います。

財源 国923万円
市924万円

▼ 下水道施設課



● 伊万里・有田消防組合運営負担金

9億2529万円

消防事業を行う伊万里・有田消防組合の運営に要する経費を負担します。

財源 市9億2529万円

▼ 消防調整課



● 消防団運営事業（消防団活動環境の改善）

628万円

消防団の活動環境の充実を図るため、分団各部に防火帽などを配備するとともに、消防団員等福祉共済制度加入補助金を見直します。

財源 県627万円 市1万円

▼ 消防調整課



● 環境基本計画・地球温暖化対策実行計画策定事業

497万円

温室効果ガスの削減に取り組むための地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、環境基本計画に『カーボンニュートラル』の考えを盛り込むために改定を行います。

財源 市497万円

▼ 環境政策課



6 自立と協働のまちづくり

直面する行政課題に柔軟に対応していくため、効率的で自立した自治体経営に努めながら、まちづくりへの市民の主体的な参画による『自立と協働のまちづくり』を進めます。

▼まちづくり団体や地域のまちづくり活動を支援し、市民活動の新たな担い手づくりに努めるなど、市民みずからが地域の課題を解決する取り組みへの支援に努めます。

▼性別や年齢などに関わらず、すべての人がその人らしく個性と能力を十分に発揮することができ、社会の実現を図ります。

▼市税や使用料などの自主財源の適正な確保を図るとともに、直面する行政課題に対し、限られた行政資源の有効な活用を図るほか、他自治体との連携や民間活力の導入を図るなど、効率的で効果的な行政運営に努めます。

▼本市ならではの魅力の向上や再発見を進めながら、その魅力を戦略的に市外に発信するシテイプロモーションを推進し、移住・定住の促進を図ります。

●市制70周年記念式典開催事業【新】

217万円
市制施行70周年を記念する式典を開催し、市政功労者と善行者の表彰などを行います。

財源 市217万円

▼秘書課



●庁舎管理事業（空調及び照明設備改修工事等）【新】

3億3976万円
本庁舎と別館（1階を除く）の空調設備は、冷凍機とボイラーによる全館空調方式となつていますが、老朽化により不具合を生じていることから、電気による個別空調方式に改修するとともに、併せて照明設備をLEDに改修します。

財源 市債3億70万円

▼財政課



●行政組織機構改革事業（庁舎1階窓口リニューアル業務委託）【新】

5170万円
来庁者の住民異動申請時の負担を軽減するスマート窓口の本格的な運用開始に合わせて、庁舎1階の案内表示板や窓口カウンターなどを整備し、市民の利便性向上を図ります。

財源 繰入金5160万円

▼企画政策課



●ファシリテイマネジメント推進事業（市民会館跡地活用基本構想作成業務委託料）【新】

627万円
市民会館跡地について、中央公民館など既存施設の老朽化対策を踏まえた活用を図るため、市民センターなど周辺施設を含んだ新たな複合施設の機能や配置など、跡地利用の基本構想を作成します。

財源 繰入金620万円 市7万円

▼プロジェクト推進課



●ふるさと応援寄附募集事業

14億9096万円
ふるさと応援基金への寄附の増加を図るとともに、本市のPRや産業振興を行います。

財源 繰入金14億9096万円

▼財政課



●戸籍住民基本台帳事業

（コンビニ交付の戸籍追加）【新】
1886万円
令和5年3月から開始したコンビニエンスストアにおける住民票などの交付について、市民の利便性向上を図るため、新たに戸籍を追加することから、戸籍システム等の改修などを行います。

財源 市1886万円

▼市民課



令和6年度 予算特集号

■発行日／令和6年5月1日
 ■発行編集／伊万里市情報政策課広報係
 (0955)23-4313 (直通)
 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町 1355 番地 1
 ■伊万里市のホームページ
<https://www.city.imari.lg.jp/>
 ■印刷／山口印刷株式会社

SDGs (持続可能な開発目標) 17の目標

SDGsとは、2015年に国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。貧困、衛生、教育、経済成長や働きがい、格差、気候変動など、21世紀の世界が抱える課題が包括的に挙げられており、17の目標(ゴール)と169のターゲットから構成され、地球上の『誰一人取り残さない』ことを誓っています。

【出所：国際連合広報センター】

	<p>1 貧困 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p>		<p>10 不平等 各国内および各国間の不平等を是正する</p>
	<p>2 飢餓 飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>		<p>11 持続可能な都市 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する</p>
	<p>3 保健 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p>		<p>12 持続可能な消費と生産 持続可能な生産消費形態を確保する</p>
	<p>4 教育 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する</p>		<p>13 気候変動 気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる</p>
	<p>5 ジェンダー ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う</p>		<p>14 海洋資源 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p>
	<p>6 水・衛生 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p>		<p>15 陸上資源 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復および生物多様性の損失を阻止する</p>
	<p>7 エネルギー すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</p>		<p>16 平和 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する</p>
	<p>8 経済成長と雇用 包摂的かつ持続可能な経済成長およびすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する</p>		<p>17 実施手段 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</p>
	<p>9 インフラ、産業化、イノベーション 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る</p>	<p>伊万里市は、SDGsを推進し『未来につながる持続可能都市 伊万里』を目指します。</p>	